

2024 年（令和 6 年）2 月 13 日

逗子市教育委員会

史跡長柄桜山古墳群第1号墳の整備が完了します

4月20日(土)に現地でオープニングセレモニーを開催

●長柄桜山古墳群とは

平成 11 年 3 月に葉山町と逗子市の境界にあたる丘陵上で発見された、県内最大級の規模を誇る 2 基の前方後円墳です。全長は第 1 号墳が 91.3m、第 2 号墳は 88m で、いずれも古墳時代前期（4 世紀後半）に造られました。平成 14 年 12 月に国の史跡に指定され、平成 26 年度から第 1 号墳の整備工事に着手、この 3 月に工事が概ね終了する予定です。

●どんな整備を行ったのか

第 1 号墳の整備は、自然環境との調和を大切にしながら、古墳の崩壊を防ぐために全体に盛り土を行い、ササを植えて保護しています。同時に、訪れた方が古墳に関する理解を深めることができるように、古墳の上に登れるよう階段を整備し、頂上には木の棺（ひつぎ）が埋まっている場所を表示し、埴輪のレプリカや説明板も設置いたしました。古墳の頂上からは相模湾に浮かぶ江ノ島、そして天気の良い日には富士山までが一望できるようになりました。

●オープニングセレモニー

令和 6 年 4 月 20 日（土）、地元の誇りともいえるこの史跡のオープニングセレモニーを葉山町とともに開催し、正式な公開を開始する予定です。内容については、詳細が決まりましたらあらためてお知らせいたします。

●なお、本件につきましては、葉山町においても同時に発表されます。

【付属資料】

資料：第 1 号墳整備工事の概要

本件に関するお問い合わせ先

教育部 社会教育課 佐藤・吉田

電話：046-873-1111 内線 520



整備前のすがた（平成17年）



現在のすがた（令和5年）



盛土工事の状況1（樹脂含浸布製枠工）



盛土工事の状況2（樹脂含浸布製枠工）



植栽の状況



墳頂部平坦面の土系舗装



遺構表示（埋葬主体部）



遺構表示（埴輪レプリカ）